



## 1月の青空の下、庭に

### サザンカの花が咲いています



愛知県豊川市パート8

息子に名前をつけなければなりません、私は名前の本を買ってきて色々調べて縁起の良い名前元氣な子の育つ名前等を考えて調べ、近くの易を見る人がいるのでそこでも相談してと、かをの両親から言われ、私が考えた名前を二つほど持っていき見てもらいました。

結果「和宜」「かずよし」と言う名前に落ち着きました。さて小さな和宜はミルクを通常の赤ちゃんが飲む哺乳器では大きすぎ、その半分の哺乳器を買ってきてそれで飲ませていました。なかなか飲みません。少しづつ少しづつ飲ませて飲む時間も長いのですが量は少し、そんな和宜の食事時間です。2, 50

0で退院してから1ヶ月たつてやっと2, 800グラム、気の長い話ですが、ゆっくり成長していますので、親としてはその成長が嬉しく思える日々でした。

仕事もしなくてはなりませんので、朝早く出て昼に一度帰り、かをと赤ちゃんの様子を見てミルクを飲ませ、又仕事に出かけ、夕方4時に帰って来て和宜をお母さんと一緒に風呂に入れるのです。お風呂が大好きな子で、風呂に入れると機嫌が良くその後ミルクをよく飲んでくれます。

そんな私の生活が続きましたが、かをは相変わらず寝たままです。病院だけではしっかり起きていきます。かをの病院も精神科ですが、先生と合わないといけ

ないので私も先生と面談して、この先生ならいいのではという先生を見つけたのに6件ほどの精神科に通いました。中にはしっかり見ないですぐ入院を勧めた医者もいたりして、医者さん探しも大変でした。かをの病名はうつ病と言われていたのですが、それにしては少し重いのではないと思っていました。のちに東京に出た時慶應病院で、統合失調症と診断されるまでは、解りませんでした。奥さんと赤ん坊両方が病弱で困りましたが、私は元気で飛び回っていました。

1年が過ぎました。和宜は脱腸が出ていたので名古屋の病院で手術です。かをと和宜の3人で病院に行きましたが、全身麻酔です。心配しましたが、小さな子に全身麻酔をかけて大丈夫なのか？麻酔で亡くなったという新聞記事を見ていたので心配

しましたが無事手術を終えて来た和宜を見てやっと安心しました、生きていました。

その後小さいながらもスクスクと育ってくれました。ただ体の割には頭が大きいので私は水頭症ではないかと心配し、医者に相談しましたが、そうではなく今は体が小さいのでそう見えるだけでやがて体が大きくなれば心配ないです、と言われやれやれと心配ばかりです。

3歳になりました。保育園に入れようと私が提案したところ、かは何も言いませんが、お父さんお母さんが、こんな小さい子かわいそうだと反対です。私は身体は確かに身長も体重も標準から $\infty$ しかありませんので小さいですが、頭は大丈夫の様なので同年代の子と一緒に遊ばせたいと思い反対を押し切って保育園に。園長先生も「大丈夫ですよ、お預かりします」と言っていたので、通わせることにしました。年少さんです。身長は普通の子の $\frac{2}{3}$ です。ですのでとても小さく年少さんはみんな小さな子ですが、その中でも一番小さいのですからよく目立ちます。年長さん、年中さんから同じ年少さんからも、かわいいといって可愛がってくれました。いじめられるかと思つて心配でしたが、そんなことはなく小さ過ぎたのが幸いし皆なが珍しさもあるのです。う、「可愛い」「可愛い」と言ってくれました。

本人はニコニコしてみんなとまじわっています。なので先生にお預けして第一日は無事過ぎました。毎日4時にお迎えです。自分の仕事場から車でお迎え、私の毎日の仕事です。

ある日仕事場でお迎えに30分はかかるところで4時になってしまい、急いでお迎に向かいました。

4時30分です。園では子供達はみんな帰りシーンとしていて、息子は一人職員室にいました。「申し訳ありません、遅くなりました」と私、「大丈夫ですよ、和宜君お父さんがお迎えにきてくれましたよ」と先生、和宜はすぐに出て来ません。先生が和宜の手をひいて玄関口まで連れて来てくれました。その時の和宜の顔を今でも忘れません。

置いて行かれた寂しさと、恐怖に満ちた気持ちの弄り混ざった顔、青白いのです。私は急いで和宜を抱きしめました。胸にしっかりと抱きしめて「ごめんね、ごめんね、さびしかったね」と何度も言ってしまうほど抱きしめてやりました。和宜は泣きませんで

した。泣く以上に置いて行かれたのかと恐怖が勝って居たのでしよう。このことは私にとっても反省の事として後々までも残りました。

秋です。運動会の季節です。保育園でも運動会が催されました。小さな運動場で年長さん、年中さん、年少さんが躍動します。20m競走というのがありま

す。6人程が1列に並んで、よいいどんでゴールまで直線走り抜くのですが、和宜の番になりました。保護者の中から「可愛い」という声が聞こえて来ます。あまりにも小さい子が出て来たのでみなさん興味津々です。「あの子走れるのかしら」とか「他の子と一緒に走るのがかわいそう」とかの声が聞こえます。私も奥さんのかをも、お母さんも、お父さんも来ていましたが、みんなハラハラしながら見ていました。

「よいいどん」の掛け声が聞こえて一斉に走り出しました。ところが和宜はみんなと一緒に走り出さないので。皆が走り出したのをニコニコと眺めながら、一番後からニコニコと走るので。皆さんが大きな声で笑って「可愛い」「がんばれ」と和宜に声援を送っています。親とすれば恥ずかしいやら、嬉しいやら、複雑な気持ちで手を叩いていました。

本人は一番後からゴールして嬉しそうにしています。楽しそうなのです。私はスポーツを

やって来ていますので、競走ですから一番を取ってもらいたいのですが、本人はそんな事は眼中に無く、とにかく楽しそうにニコニコしています。私はまあ本人が楽しいのならそれでいいかと思いましたが、かをは恥ずかしそうにしていますが、「かを、和宜が楽しそうなのでそれで良いのでは」と私、「うん」とかを。何事もなかなかスムーズにいかない子供ですが私たちは幸せでした。生きていくだけで幸せです。この後も色々苦勞させられますがさてこの後どう成長していくのか、私の仕事はどう変化していくのか、かをの病気は？次回に・・・

籠谷 弘



### 歌声喫茶 1月・2月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

1月 9日、23日

2月 13日、27日

### 楽々亭第49回 1月の予定

1月27日(月)

西京区役所洛西支所第三会議室

午後1時30分～3時30分



### ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。